



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	サブカルサブリ第8回 : 「超」観光立県って一体! ?
Author(s)	山村, 高淑
Description	埼玉新聞2010年11月28日版、特集「サイタマニア」、p.2
Citation	埼玉新聞
Issue Date	2010-11-28
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/50314
Type	article
File Information	20101128Saitamania subcul suppl No.08.pdf



山村高淑の サブカル サプリ



アニメや漫画の舞台地が多いサブカル王国・
埼玉。その魅力を「アニメツーリズム」の専門
家、山村高淑氏が紹介する。

2003年の小泉内閣による観光立国宣言以来、多くの自治体が「観光立県」に名乗りを上げ、様々な条例や基本計画が策定されています。その中で異彩を放っているのが、『埼玉「超」観光立県宣言』です。

他県が「かちつ」とした文章で、自らの歴史・伝統・自然などの素晴らしさをこれでもかと讃える中、埼玉だけは「宣言文4項目」のみ。しかも「海なし、温泉地なし、世界遺産なし」と自らの負の面を書き連ねることから始まり、「東京を訪れる外国人観光客を積極的に横取りします」といった決意で終わる、すごい宣言。自虐ネタで始まり挑戦状で終わっちゃってます。これを「行政がふざけるな!」と怒ってはいけません。他県が分かりにくい行政用語で条例や計画を書く中、これほど明快に、冷静な現状分析、身の丈に合った戦略をうたった文章はありません。他県にはない「本気さ」を感じさせます。

中でも「ひとつずつは小粒でもキラリと光る新しい資源を徹底的に結び付け魅力倍増をはかる」という戦略は、具体的に「ゆる玉応援団」ということで動き出しています。1体1体はゆるすぎて、とてもひこにや

「超」観光立県って一体!?

ん(彦根市)やせんとくん(奈良県)といったツワモノとキワモノには到底かなわない(失礼!)のですが、チームワークで攻めればひよつとしたら:と、コバトンを団長に埼玉県のPRに余念がありません。現在団員は47体(団長含む。11月21日現在)ですが、県内全市町村にキャラをとの呼びかけが上田知事からもあり、次々団員が増えていく模様。他県からしたらこれは何とも恐ろしい存在です(笑)。

で、本コラムとして注目しているのは、りゅうごん(秩父市)とブコーさん(横瀬町。武甲山がモデル)です。りゅうごんはなんとあの故石ノ森章太郎先生がデザイン。ブコーさんは、笑点でおなじみ秩父出身の嘶家・林家たい平さんがデザイン。もちろんそれ以外のキャラも、それぞれが地域への熱い想いから生まれ、深い物語を持っています。是非調べてみてください。

世界遺産や超一流観光資源にあぐらをかいている地域より、自分の弱点をしっかりと踏まえ、小粒でも、できることを頑張る、そんな等身大で人情味のある埼玉の方に好感を持つのは私だけじゃないはず。応援しています!